

大潟小学校出前授業・施設見学会

大潟小学校4年生を対象とした出前授業、施設見学会は平成20年度から始まり、平成23年度で4回目となる。土地改良施設の役割と多面的機能の啓発活動の一環として実施した。

- 出前授業 平成23年11月4日(金) 午前8時45分～午前9時45分
 - ・土地改良施設の役割、土地改良区の仕事等を説明（出前授業用資料）
 - ・東部承水路の取水口方式（サイフォン式）の模型を用いて説明
 説明後、生徒より想定もしない質問等もあったが有意義な出前授業となった。生徒のほとんどが当土地改良区の組合員の子息等であるが、実際には場等で農作業を手伝うまたは行ったことがないのが実情である。土地改良施設の役割についてより深く理解が得られるよう継続して行っていく。
- 施設見学会 平成23年11月9日(水) 午前8時45分～午前10時25分
 - ・F2用水取入機場
 - ・南部排水機場
 出前授業を踏まえ、土地改良施設の一部を実体験でより深く理解してもらう目的で実施しているが、生徒達は実際に見て実感で理解したようである。また、八郎潟基幹施設管理事務所のご協力により排水機場の重要性も含め農業水利施設及び土地改良区の仕事も少しは理解してくれたのではないかと。出前授業、施設見学を通じて生徒は勿論、父兄等の地域住民等に対しても理解が得られるよう継続し啓発活動を実施する。



活動体制	
実施主体	水土里ネット大潟（大潟土地改良区）
後援・連携	大潟小学校、大潟村教育委員会
実施期間	平成23年11月4日、11月9日
参加者	生徒37名、担当教師2名（出前授業）施設見学会（引率教師2名） 計39名
報道関連	特になし
活動実施年数	4年
連絡先	〒010-0443 南秋田郡大潟村字中央3番地9 大潟土地改良区 TEL 0185-45-2118
その他	

【活動内容に対する自己評価】 水土里ネット大潟（千田 博）

○活動の目標及び達成率	目標	大潟村における農業水利施設の重要性			
	達成率	90%			
○活動に対する評価	・4年生を対象に平成20年度から実施し4年目となり、土地改良施設の役割、重要性を出前授業、施設見学を通じてかなり理解が出来てきている。今後も新4年生を対象として施設の役割等の啓発活動について学校側へお願いする。				
判定基準	自己判定（達成度）		判定基準	自己判定（達成度）	
	判定	評価等		判定	評価等
1. 取組体制について			④運動のPR	C	大潟村案内ボランティアの会へ土地改良区概要パンフレットを提供し千拓博物館に見学された村外の方々へ土地改良区の役割を説明いただいている
①役職員・組合員の参加	B	役員は農業水利施設の多面的機能啓発活動を奨励している	4. 運動の成果		
②後継者育成の工夫	B	出前授業、施設見学会の啓発活動により土地改良区の役割を理解が深まっている	①他組織との連携構築	B	大潟村教育委員会、大潟小学校の啓発活動へは理解を得ている
2. 活動の意味性について			②地域住民等の理解	A	純農村型の地区であり、ほとんどが土地改良区組合員であることから、その他住民も含めても理解度は高い
①基本理念の設定	A	農業水利施設の意義を伝えており、土地改良事業の理解度は高い	③施設管理・地域資源の保全強化	B	今後の国営事業も視野に地域の住民、組合員等へ事業についてアンケート調査等の啓発活動を実施している
②地域の歴史等の伝承	C	当地区は、周辺地域に比べ歴史も浅くまた人的にも絶対数がないので、年月を重ねて、その手本となる人材の育成が必要な地区である	④運動の地域づくりへの関わり	A	当地区は行政（大潟村）と土地改良事業関連の補助等でつながりは深く、今後も情報交換等を行い土地改良事業のより一層理解を得られるよう努力する
③運動の先駆性	C	上記同様である	⑤農地・水・環境保全向上対策への貢献	A	地域住民のほとんどが農家で組合員であり、農地・水関連の事業については理解している
3. 運動の継続性・発展性			⑥地域農業振興への貢献	A	純農村型の地区であり、必然的に農業水利施設役割の理解度は高い
①運動の継続性	A	大潟村外の方々へもパンフレット等により土地改良施設の役割等の大潟村案内ボランティアの会より説明しており一定の啓発活動効果はある	5. 今後の課題等について		
②運動の発展・拡大	B	国営造成施設管理体整備促進事業と連携し土地改良区の役割、土地改良施設の多面的機能の啓発活動の継続性により理解を得られつつある	・当地区は、幹線用水路、排水路横断管等の経年劣化により更新時期を迎えており、国営事業等の早期実施を国等の関係機関へ要望している		
③運動の計画性	C	大潟小学校4年生を対象にこれまで4年間実施しているが、関係町の小学生へも出前授業を行いたい、その町の土地改良区自体もお願いしても理解が得られず実施していないのが実情である			

（自己判定）A：大いに達成している B：達成している C：少しは達成している D：達成していない E：その他